

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

『誰もが主人公！ 一人ひとりが輝けるまち和泉』

本市では「ささえあう みんながつくる 地域の和（輪）」を基本理念に第4次地域福祉計画（2019年～2023年）を定め、「安全・安心に暮らせる地域づくり」「支援が必要な人を支える地域づくり」「適切な支援につなげる体制づくり」「健康で活躍できる福祉のまちづくり」の4つの基本目標に取り組んできました。

第5次地域福祉基本・活動計画は、第4次計画の振り返り、和泉市地域福祉推進協議会及び和泉市福祉でまちづくり委員会での意見、本市アンケートや市社協アンケートの結果、福祉関連団体および関係各課（室）へのヒアリングから課題分析し、「包括的な相談・支援体制のさらなる充実」「切れ目ない・こぼれない支援体制の構築」「地域づくり・担い手づくり」「誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ」「『わがごと、まるごと』の地域共生社会の実現のベースとなる機運、意識、体制、そして議論」の5つを本市の地域福祉の課題としてとらえ、その解決策を後述する5つの基本目標として定めました。

また、従来の自助・共助・公助の考え方に加え、共助を支える共助、共助を支える公助の役割も明確にし、各取組みの主体の明確化と切れ目ない・こぼれない支援の実現を図ります。

さらに、地域福祉基本計画と地域福祉活動計画を一体化し、取組みの関係性を明確にすることで推進力を高めます。

そのことで、「ささえる側」「ささえられる側」という関係だけではなく、地域のつながりを改めて認識し、大切にしてい、年齢、性別、出自、国籍、障がいの有無等に関わらず、子どもから高齢者まで、互いの人権を尊重し、助けあいながらよりよい社会をつくる主役として輝くことができる『誰もが主人公！ 一人ひとりが輝けるまち和泉』の実現めざし、地域に住む誰もが安心して、いきいきと暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。

誰もが主人公！ 一人ひとりが輝けるまち和泉

自助（市民一人ひとり）

共助（友人・知人・隣近所）

共助（地域 町会・自治会等）

共助（市社協・ボランティア・団体・法人・企業等）

共助を支える共助（市社協 その他団体等）

公助（自助・共助をささえる公助を含む）（行政）

ささえあいのケーキモデル



「誰もが主人公！ 一人ひとりが輝けるまち和泉」の構造を表したものが「ささえあいのケーキモデル」です。自身やその家族の努力（自助）では解決できない課題は、友人・知人や隣近所による助けあいや日常のあいさつ等を通して、お互いに顔が分かる関係にある身近な地域で活動する様々な人たちが支えています。また、本市には校区を超えて活動する市社協やボランティア、団体、法人、企業、協同組合が存在します。さらに市社協のように共助の主体を支える共助の仕組みもあります。そして、行政（公助）は自助だけでなく、これらの共助の仕組みを様々な施策によってささえています。

2. 基本目標

基本目標 1 包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり

地域における身近な相談窓口の充実に取組むとともに、社会資源や各種相談窓口の相互関係づくりや「見える化」を図り、住民が相談しやすい環境づくりに取組みます。

基本目標 2 切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり

制度の狭間に陥り、また、複雑化、複合化したニーズを持つ住民が支援の網の目からこぼれることがなく適切な支援につながるよう、共助と公助とが連携した切れ目のない支援体制と地域づくりに取組みます。

基本目標 3 多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充

地域活動の担い手不足や現に活動している担い手の負担感解消へ向けて、担い手講座の開催や生活スタイルに合わせて参加形態の幅を広げる工夫を講じるとともに、「創発の場」を通じて担い手づくりと社会資源の開発に取組みます。また、地域に所在する社会福祉法人、民間企業、商業施設、地元商店主、隣保事業の運営者など、社会貢献に関心が高い主体との関係構築を図り、その社会貢献活動と地域活動とを連動させ、社会資源の拡充や開発に取組みます。

基本目標 4 誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ

地域福祉を推進していく上で、地域は様々な人で構成されていることを認識し、そして、お互いの人権や多様性を理解することが大切です。また、くらしやすい、わくわくするようなまちづくりを進めていくには、人権や多様性の理解に加え、毎日の生活を安全に送れることが前提となります。そのことから、福祉の概念を広くとらまえ、子育て・教育、防災・防犯、環境保全、権利擁護の具体的な取組みを実施します。

基本目標 5 地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場

地域共生社会の実現に向けて、世代やテーマ・分野を超えて、市民や地域の多様な主体が協働する必要があります。「自助、共助、公助」の相互の緊密な連携も欠かせません。

関係機関どうしの「縦割り」や市民と市・関係機関との「横割り」を解消し、市社協を初め関係機関、地域福祉に携わる人々、市行政、そして、地域福祉の主役である市民の機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場の充実に取組みます。



誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ



地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場



切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり



包括的で身近な支援

多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充

施策の体系

基本理念	基本目標	施策の方向
『誰もが主人公！一人ひとりが輝けるまち和泉』	1 包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり	(1) 情報発信、情報共有
		(2) 相談
		(3) みまもり、発見
		(4) 解決
	2 切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり	(1) 支援
		(2) 拠点、居場所の整備
	3 多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充	(1) 担い手・社会資源の創造
		(2) 住民が参加しやすい仕組みづくり
	4 誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ	(1) 防災
		(2) 消防・救急
		(3) 防犯
		(4) 高齢者・障がい者の人権
		(5) 教育
		(6) 自然環境
	5 地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場	(1) マネジメント
		(2) 意識改革
		(3) 組織の強化、支援
		(4) 体制の整備

具体的な取組み

①「地域福祉基本・活動計画」の情報発信・共有 ②地域活動情報の発信 ③つながり、自らの発信に関する広報、研修 ④多世代ささえあいの機運醸成
①身近な地域の相談窓口の設置 ②身近な相談窓口の周知啓発 ③社会資源や相談窓口の「見える化」
①住民どうしの思いやりの環境づくり ②「みまもる眼」のポイント学習会
①各小学校区の「協議の場」の充実 ②小学校区別アクションプランの実現支援 ③地域福祉の財源確保
①生活困窮者自立支援・就労支援 ②日常生活自立支援事業
①拠点整備 ②誰もが参加できる居場所づくり
①「新しい公共」「創発の場」の開発と重層的支援（地域づくり） ②地域福祉活動の担い手づくり ③地域貢献連絡会の開催およびNPO、事業者、社会福祉法人の社会貢献活動と地域活動との融合 ④担い手講座の開催
①地域福祉活動の負担感の軽減
①「避難行動要支援者支援体制」の構築支援 ②身近な地域での防災 ③福祉避難所の登録 ④災害ボランティアセンターの設置運営
①街頭や公共施設での救命救急
①「再犯防止推進計画」の推進
①「成年後見利用促進基本計画」の実施
①福祉と教育との連携 ②福祉学習プログラムの企画と実施
①環境意識の高揚にかかる啓発
①「基本計画」（地域福祉基本・活動計画、その他の各基本計画）中心のマネジメント
①高齢者の日常生活支援 ②「自助、共助、公助」の連携 ③圏域 ④市職員の人材育成 ⑤機運の醸成、市民意識の涵養
①市行政組織 ②民生委員・児童委員、主任児童委員 ③市社協
①「医療のまち」ブランド ②小学校区単位の協働・みまもり体制

第4章 目標に対する取組み

ここでは、自助・共助・公助それぞれの役割を明確にするため、各目標を実現するための取組み主体について、市、市社協、および、その他共助の実施主体を次のように示しています。

(■：和泉市の取組み ●市社協の取組み ★その他共助の取組み)

【1】基本目標1 包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり

(1) 情報発信、情報共有

① 「地域福祉基本・活動計画」の情報発信・共有

■「地域福祉基本・活動計画」について情報発信します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	「地域福祉基本・活動計画」の主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	広報紙	広報紙 市HP	広報紙 市HP 市SNS	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	「地域福祉基本・活動計画」の認知度					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値 確認	30%	40%	50%	60%

② 地域活動情報の発信

- 「社協いずみ」や「アイ・あいロビーニュース」などの広報紙や SNS 等の見やすさ、伝わりやすさを工夫しながら、「協議の場」での協議内容を含む地域活動に関する情報発信を行い、地域住民の認知度が高まるよう努めます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	「協議の場」での話し合いの様子や活動内容についての発信回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	10回	12回	12回	14回	14回	15回
	成果目標					
	「ふくしアンケート調査」による認知度（5か年に1回調査）					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	43%	—	—	—	—▶	55%

③ つながり、自らの発信に関する広報、研修

- 小さな変化や異変、困りごとを感じ、気づくための日々のつながりや住民自身が助けてと発信する大切さについての意識啓発（広報や研修会の開催）に取り組めます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	広報や研修を通じ、受援力や支えあいの啓発を行う					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	成果目標					
	地域の相談機関や地域活動へつないだ数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	35回	35回	40回	40回	45回	45回

④ 多世代ささえあいの機運醸成

- 「ささえる側」「ささえられる側」に分かれるのではなく、子ども、若い世代、高齢者、障がい者など、互いに支えあえる風土を広報や交流などを通して啓発します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	多世代の交流活動についての情報発信					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	18回	19回	20回	21回	21回	22回
	成果目標					
	多世代の交流活動支援の実績					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	6回	6回	7回	7回	8回	8回

(2) 相談

① 身近な地域の相談窓口の設置

■安心して地域での生活を続けられるよう身近な地域の福祉の総合相談窓口として、いきいきネット相談支援センターの設置(市内8か所)を継続します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	いきいきネット相談支援センター(市内8箇所)の主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	広報紙	広報紙 市HP	広報紙 市HP 市SNS	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	同センターの認知度が向上					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	8%	20%	30%	40%	50%	60%

② 身近な相談窓口の周知啓発

■「どこに相談すればよいか分からない」と困る人がないように、地域に開設されている各種相談窓口（いきいきネット相談支援センター、地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、人権文化センター等）の認知度が向上するよう周知啓発に取組めます。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	各種「身近な相談窓口」の主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	広報紙	広報紙 市HP	広報紙 市HP 市SNS	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	「困った時に相談する相手がいる、窓口がわかっている」住民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	前年度比 20%増	前年度比 10%増	前年度比 10%増	60%

③ 社会資源や相談窓口の「見える化」

- 社会資源や各種相談窓口（同上）を可視化し、住民が困りごとを相談・解決しやすい体制づくり（ホームページのリニューアル・市と共有ソフトの充実）を行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	ホームページ等の広報媒体の充実					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	社協 HP	社協 HP リニューアル	社協 HP 広報紙 市と共有ソ フト充実	社協 HP 広報紙 市と共有ソ フト充実	社協 HP 広報紙 市と共有ソ フト充実	社協 HP 広報紙 市と共有ソ フト充実
	成果目標					
	校区ごとの社会資源等のマップ化					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	3 校区	5 校区	1 0 校区	1 5 校区	2 1 校区

(3) みまもり、発見

① 住民どうしの思いやりの環境づくり

- 住民どうしがご近所を気にかける思いやりの気持ちを育み、継続的で自然且つ、緩やかな声かけ、みまもりがしあえる環境づくりに取組みます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	みまもり検討会議や地域での見守りについての話しあいを行った回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 3 回	1 3 回	1 4 回
	成果目標					
	みまもり体制の整備や改善が行われた地域数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1 箇所	3 箇所	3 箇所	5 箇所	5 箇所	5 箇所

② 「みまもる眼」のポイント学習会

- 町会・自治会、校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの活動者を対象とした「みまもる眼のポイント」を押さえた学習会等を行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	「みまもる眼のポイント」をおさえた学習会を行った回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	2 回	3 回	3 回	4 回	4 回	5 回
	成果目標					
	ふれあい訪問の利用者数とボランティア数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	利用者数 4 0 0 人 ボランティア数 2 0 0 人	利用者数 4 0 0 人 ボランティア数 2 0 0 人	利用者数 4 0 0 人 ボランティア数 2 0 0 人	利用者数 4 2 0 人 ボランティア数 2 0 0 人	利用者数 4 2 0 人 ボランティア数 2 0 0 人

(4) 解決

① 各小中学校区の『協議の場』の充実

■●地域の情報を収集し、住民の困りごとを早期に発見、解決するために、小中学校区単位で行政・多機関の専門職、地域のボランティアが情報交換を行い、協働した活動ができるように『協議の場』の開催を支援するとともに、地域福祉推進コーディネーターを配置し、地域の福祉課題解決に向けた取組みを支援します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課） 市社会福祉協議会	『協議の場』を年に4回以上開催の校区数（全21校区）					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	3～5 校区	6校区	8校区	10校区	15校区	21校区
	成果目標					
	『協議の場』で継続的に議論するテーマを1つ以上持っている校区数（全21校区）					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	6校区	8校区	10校区	15校区

② 小学校区別アクションプランの実現支援

- 小学校区別アクションプランの目標達成に向け、話しあい場のづくりの支援を行うとともに、先進事例や活用出来る社会資源等の情報提供など、住民主体の福祉活動への伴走支援を行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	協議の場の開催、運営支援					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	2 1 校区	2 1 校区	2 1 校区	2 1 校区	2 1 校区	2 1 校区
	成果目標					
	協議の場実践活動補助金の活用数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	5 校区	5 校区	6 校区	6 校区	7 校区	7 校区

③ 地域福祉の財源確保

- 「自助」「共助」そして「自助・共助を支える共助」の地域福祉推進の財源を拡充するため、共同募金などの活用や助成金情報などを収集し、活用します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	市社協ホームページでの各種助成金情報のネットワーク					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	3 件	3 件	3 件	4 件	4 件
	成果目標					
	住民組織から相談を受け、助成金申請等の支援件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	2 4 件	2 4 件	2 4 件	2 5 件	2 5 件	2 6 件

【2】基本目標2 切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり

(1) 支援

① 生活困窮者自立支援・就労支援

■制度の狭間に陥り、また、複雑化、複合化した課題を抱える生活困窮者の自立へ向けて、各種相談支援、就労支援に取り組めます。

実施主体	業績目標					
市（くらしサポート課）	複雑化、複合化した「生活困窮者」としての取扱件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	前年度比 20%増	前年度比 20%増	前年度比 20%増	前年度比 20%増
	成果目標					
	上記中、会議体や支援機関などへつないだ割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	80%	80%	80%	80%	80%

② 日常生活自立支援事業

●判断能力が不十分な方が地域での自立した生活が続けられるよう「日常生活自立支援事業」の実施と周知活動を行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	周知活動の件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1 件	1 件	1 件	2 件	2 件	3 件
	成果目標					
	日常生活自立支援事業の待機者数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	32 人	20 人	10 人	5 人	5 人	5 人

(2) 拠点、居場所の整備

① 拠点整備

■「切れ目ない・こぼれない」支援のための市行政、関係機関、民間事業体が主体の拠点（子育て支援、医療介護連携、「創発」的担い手づくり）を整備、また、その支援を行います。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課、子育て支援室、障がい福祉課、高齢介護室、人権・男女参画室）	整備方針の策定及び実施					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	整備方針 策定	同方針の 実施	同方針の 実施	同方針の 実施	同方針の 実施
	成果目標					
	分野ごとに設定					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	分野ごと に設定	分野ごと に設定	分野ごと に設定	分野ごと に設定	分野ごと に設定

② 誰もが参加できる居場所づくり

- 地域の社会資源の整理、新たな居場所づくり、制度の狭間のニーズを抱える地域住民が社会とつながる支援を行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	サロンや居場所づくりの立ち上げ支援数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件
	成果目標					
	立ち上がったサロン数や居場所の数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	3 件	3 件	3 件	3 件	4 件	4 件

【3】基本目標3 多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充

(1) 担い手・社会資源の創造

① 「新しい公共」「創発の場」の開発と重層的支援(地域づくり)

■「地域共生社会」の実現へ向けて、社会的包摂の観点、「ささえる側」も報われみんなが光輝くまちとの観点から、「新しい公共」、また、それを育む「創発の場」を開発します。併せて、地域づくりに関わる重層的支援の仕組みの構築を検討します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課、 人権・男女参画室）	「創発の場」開発プロジェクトの推進、重層的支援「地域づくり」計画の策定・実施					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	推進方針 の策定 「地域づ くり」方 針の策定	推進方針 の実施 「地域づ くり」方 針の実施	推進方針 の実施 「地域づ くり」方 針の実施	推進方針 の実施 「地域づ くり」方 針の実施	推進方針 の実施 「地域づ くり」方 針の実施
	成果目標					
	「地域課題の解決の担い手や社会資源が多様化、拡充した」と感じる市民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値 確認	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増

② 地域福祉活動の担い手づくり

■地域福祉活動のボランティアを増やす取組みを推進します。

実施主体	業績目標					
市（広報協働推進室）	ボランティア講座の開催数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	ボランティア講座開催方針策定	ボランティア講座開催方針実施	ボランティア講座開催方針実施	ボランティア講座開催方針実施	ボランティア講座開催方針実施
	成果目標					
	ボランティア登録数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	前年度比5%増	前年度比5%増	前年度比5%増	前年度比5%増

③ 地域貢献連絡会の開催およびNPO、事業者、社会福祉法人の社会貢献活動と地域活動との融合

●地域貢献連絡会を開催し、NPO、事業者、社会福祉法人など社会貢献に関心が高い主体との関係構築を図り、地域活動への支援協力を呼びかけます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	地域貢献連絡会の開催件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1回	2回	2回	2回	2回	3回
	成果目標					
	地域貢献連絡会の会員団体やNPO事業者等と協働で活動した件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1回	1回	1回	1回	2回	2回

④ 担い手講座の開催

- 担い手講座を開催し、ボランティアとして、地域福祉活動に参加するきっかけづくりを行います。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	新たな担い手のきっかけの場作りや活動の支援					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	3回	3回	4回	4回	5回	5回
	成果目標					
	担い手講座受講後、地域福祉活動につながった人数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	5人	10人	15人	20人	25人	30人

(2) 住民が参加しやすい仕組みづくり

① 地域福祉活動の負担感の軽減

●幅広い世代が地域福祉活動に参加できることを目指し、負担感の軽減や参加形態の幅を広げる工夫を行うなど新たな活動の仕組みづくりについて、活動者と一緒に考え解決に努めます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	活動者や活動希望者の意向を確認し、対策や仕組みづくりの支援を行った件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	2 件	2 件	2 件	2 件	2 件
	成果目標					
	社協と共に活動するボランティア数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	校区社協 ボラン ティア 1,220 人	校区社協 ボラン ティア 1,220 人	校区社協 ボランテ ィア以外 の担い手 を含む 1,230 人	校区社協 ボランテ ィア以外 の担い手 を含む 1,250 人	校区社協 ボランテ ィア以外 の担い手 を含む 1,300 人	校区社協 ボランテ ィア以外 の担い手 を含む 1,400 人

【4】基本目標4 誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ

(1) 防災

① 「避難行動要支援者支援体制」の構築支援

■各町会・自治会単位や各小学校区単位でつくる避難行動要支援者支援体制の構築を支援します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	避難支援等実施者（近隣の支援者）が決まっている避難行動要支援者の数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	120 名	440 名	660 名	870 名	1,080 名	1,300 名
	成果目標					
	「避難行動要支援者が避難できる地域防災体制がある」と感じる市民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	20%	30%	40%	50%	60%

② 身近な地域での防災

●地域それぞれにあった災害に備えた自助・共助の取組みを進めるため、段階的な学習会や防災訓練等の開催を支援します。また、地域住民や関わる専門職と共に避難行動要支援者を含む地域住民どうしが声を掛けあい、助けあい避難する仕組みづくりを進めます。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	地域を主体とした防災に関わる話しあいや学習会、仕組みづくりを支援した回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	5 回	5 回	6 回	6 回	7 回	8 回
	成果目標					
	避難行動要支援者を含む支援が必要な方を含む防災訓練等の活動を支援した回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	1 回	1 回	2 回	2 回	2 回	3 回

③ 福祉避難所の登録

■身近な地域の福祉事業者などに協力を呼びかけ福祉避難所の登録を推進します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課、高齢介護室、障がい福祉課）	福祉避難所の登録数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	2 箇所	福祉避難所 設置方針策 定・実施	5 箇所	10 箇所	15 箇所	21 箇所
	成果目標					
	「福祉避難所が整備されている」と感じる市民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	30%	40%	50%	60%

④ 災害ボランティアセンターの設置運営

- 運営マニュアルに沿った設置・運営訓練を市社協とつながるボランティアや民間の支援団体と共に定期的に行い、発災時の現場の運営イメージを共有します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	市社協が主催するネットワーク会議等を設置し、協働のイメージ共有を進める					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	話しあいの 場を設置	協働のイメ ージ共有と 不足箇所の 対策を検討	改良	改良	協働のイメ ージが整理 できている
	成果目標					
	設置・運営訓練への参加団体等の広がり					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	災害ボラン ティア養成 講座等を開 催し市民の 認知度及び 協力を仰ぐ	様々な災害 を想定した 設置・運営訓 練を年に 1 回行う	様々な災害 を想定した 設置・運営訓 練を年に 1 回行う	様々な災害 を想定した 設置・運営訓 練を年に 1 回行う	様々な災害 を想定した 設置・運営訓 練を年に 1 回行う

(2) 消防・救急

① 街頭や公共施設での救命救急

■地域の事業所や店舗といった民間で設置されている多くのA E Dを、市民が一時的に借りることができる「地域助け合い事業」を推進します。

実施主体	業績目標					
市（消防本部）	登録件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	地域助け合 い事業方針 の策定	同方針 実施	同方針 実施	同方針 実施	同方針 実施
	成果目標					
	「身近な地域でのA E D設置が充分である」と感じている市民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	20%	30%	40%	50%	60%

(3) 防犯

① 「再犯防止推進計画」の推進

■保護司会や更生保護女性会が、再犯防止に向けた取組み・活動を円滑に実施できるよう、支援します。また、地域における更生保護活動の拠点である「更生保護サポートセンター」の運営を支援します。

実施主体	業績目標					
市（生活福祉課）	「更生保護サポートセンター」の運営支援					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	現状支援状況の確認	運営支援の継続	運営支援の継続	運営支援の継続	運営支援の継続	運営支援の継続
	成果目標					
	保護司会・更生保護女性会役員の市の支援に対する満足度					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	80%	80%	80%	80%

■★犯罪等の防止と立ち直りを支える取組みである「社会を明るくする運動」を通じて、再犯防止に関する地域での理解を促進します。

実施主体	業績目標					
市（生活福祉課） 更生保護団体	「社会を明るくする運動」の参加人数の拡大					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増
	成果目標					
	更生保護活動の認知度					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	6.0%	10%	15%	20%	25%	30%

(4) 高齢者、障がい者の人権

① 「成年後見利用促進基本計画」の実施

■成年後見制度による権利擁護を必要とする方が適切に制度につながるよう、「成年後見利用促進基本計画」を実施し、制度の利用を促進します。

実施主体	業績目標					
市(福祉総務課、高齢介護室、障がい福祉課)	「成年後見利用促進基本計画」の実施					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	「計画」 策定	「計画」 の実施	「計画」 の実施	「計画」 の実施	「計画」 の実施	「計画」 の実施
	成果目標					
	成年後見制度の認知度					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	29%	35%	40%	45%	50%	50%

(5) 教育

① 福祉と教育との連携

■福祉系部局と教育委員会および関係機関とが連携し、教育現場、学校現場、そして、こども・家庭への福祉的支援を強化します。

実施主体	業績目標					
市(福祉総務課、子育て支援室、学校教育室)	福祉的支援の「方針」を策定し、一元的、体系的な支援を行う					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	「福祉的支援 方針」の策定・ 実施	「福祉的支援 方針」の実施	「福祉的支援 方針」の実施	「福祉的支援 方針」の実施	「福祉的支援 方針」の実施
	成果目標					
	「教育現場、学校現場への福祉的支援に満足している」と感じている教育委員の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	過半数	過半数	過半数	全員

② 福祉学習プログラムの企画と実施

●高齢者、障がい者、子ども、性的マイノリティ、罪を犯したが更生した人々、差別を受け人権を侵害された人等への理解が深まり、「ふだんの暮らし」のなかにある地域福祉について考え行動するきっかけづくりとなる地域住民全世代を対象とした多彩な福祉学習プログラムを実施します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	子どもを含む地域住民対象とした福祉学習を行った件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	小学校 4 校区 その他 1 回	小学校 8 校区 その他 1 回	小学校 12 校区 その他 1 回	小学校 16 校区 その他 2 回	小学校 20 校区 その他 2 回	小学校 21 校区 その他 3 回
	成果目標					
	福祉学習受講後に地域での福祉活動体験等に繋がった件数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	2 件	4 件	6 件	8 件	10 件	12 件

(6) 自然環境

① 環境意識の高揚にかかる啓発

■関係機関との協働体制の構築を進め、市民・事業者への意識を高めます。

実施主体	業績目標					
市（環境保全課）	「和泉市環境基本計画」の実施					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	「和泉市 環境基本 計画」の 実施	「和泉市 環境基本 計画」の 実施	「和泉市 環境基本 計画」の 実施	「和泉市 環境基本 計画」の 実施	「和泉市 環境基本 計画」の 実施
	成果目標					
	「環境にやさしい暮らしを営むことができる」と思う市民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値 確認	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増

【５】基本目標５ 地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場

(１) マネジメント

① 「基本計画」(地域福祉基本・活動計画、その他の各基本計画) 中心のマネジメント

■ P D C A 要件を具備した「基本計画」を策定し、同「計画」に基づく進捗管理を行い、民主的で推進力のある地域福祉を実現します。

実施主体	業績目標					
市（各部局）	各「基本計画」に基づく進捗管理					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	「基本計画」策定	各「基本計画」に基づく進捗管理	各「基本計画」に基づく進捗管理	各「基本計画」に基づく進捗管理	各「基本計画」に基づく進捗管理	各「基本計画」に基づく進捗管理
	成果目標					
	「『基本計画』に基づく進捗管理が効果的、効率的、民主的に行われている」と感じている各「基本計画」の附属機関等の外部委員の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	過半数	過半数	60%	70%

(2) 意識改革

① 高齢者の日常生活支援

■「自助、共助を支える共助」「共助を支える公助」の取組みを推進するため、「公的サービスで賄えない高齢者の日常生活支援を自助、共助で充実させる」との方向性を、市民、ならびに、市・関係機関などで共有します。

実施主体	業績目標					
市（高齢介護室）	「高齢者の日常生活支援」についての主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	広報紙	広報紙 市ＨＰ	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ 地域回覧板	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	「高齢者の日常生活支援」充実の必要性を理解している市民、市職員、関係機関スタッフの割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	前年度比 10%増	前年度比 10%増	前年度比 10%増	(市民) 60% (職員) 80%

② 「自助、共助、公助」の連携

■「自助、共助、公助」の連携の重要性についての理解を、市民、ならびに、市・関係機関などで共有します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	「自助、共助、公助」の連携の重要性についての主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	広報紙	広報紙 市ＨＰ	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ 地域回覧板	広報紙 市ＨＰ 市ＳＮＳ 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	「自助、共助、公助」の連携の重要性を理解している市民、市職員、関係機関スタッフの割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	前年度比 10%増	前年度比 10%増	前年度比 10%増	(市民) 60% (職員) 80%

③ 圏域

■町会・自治会エリア、連合自治会エリア、中学校区エリア、包括支援センター担当エリア、日常生活圏域、市域といった既存「圏域」について検証し、住民ニーズ・課題に沿った行政サービスや活動の単位を検討します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課、子育て支援室、くらしサポート課）	既存の「圏域」の検証と新しい単位の検討					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	「検証」 「検討」 の方針 の策定	「検証」	「検証」	「検討」	「検討」
	成果目標					
	年度報告書の作成					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	方針策定	年度報告 書作成	年度報告 書作成	年度報告 書作成	年度報告 書作成

④ 市職員の人材育成

■地域福祉強化の必要性(現状、課題、住民ニーズ)や地域福祉の基礎理論(自助・共助・公助、圏域、地域包括ケアシステム)についての研修や学びの場を充実し、地域福祉に関わる市職員の取組み企画・実行能力、事務能力を強化します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	能力向上評価のためのオンライン学習の実施					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	オンライン 学習の 開発	オンライ ン学習の 実施(年に 1度)	オンライ ン学習の 実施(年に 2度)	オンライ ン学習の 実施(年に 3度)	オンライ ン学習の 実施(年に 4度)
	成果目標					
	オンライン学習により取組み企画・実行能力、事務能力が向上したと感じる職員の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	－	現状値確 認	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増

⑤ 機運の醸成、市民意識の涵養

■多様性を認め合う人権尊重、ささえられる側・ささえる側、性別、世代、解決すべき課題などあらゆる属性の包摂、すなわち、ダイバーシティ・インクルージョンの考えかたが、地域共生社会の実現、地域福祉の活性化へ向けて欠かせないとの機運、市民意識を高めていきます。

実施主体	業績目標					
市（人権・男女参画室）	「ダイバーシティ・インクルージョン」の重要性についての主力発信メディアの拡充					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	広報紙	広報紙 市HP	広報紙 市HP 市SNS	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板	広報紙 市HP 市SNS 地域回覧板 ポスター
	成果目標					
	地域福祉に欠かせない「ダイバーシティ・インクルージョン」に対する市民の理解度(理解している市民の割合)					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	30%	40%	50%	60%

(3) 組織の強化、支援

① 市行政組織

■福祉・子育て・教育・就労支援等の縦割り行政に横串を刺す取組み、市民と市・関係機関との連携不足に縦串を刺す取組みを強化するための市行政組織の改革を検討します。

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課）	「福祉の現場課題解決プロジェクトチーム」での検討					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	「プロジェクトチーム」での検討	「プロジェクトチーム」での検討	必要に応じて組織改革	新たな課題設定	新たな課題設定
	成果目標					
	特別職による検討業績の評価					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	検討結果への評価	検討結果への評価	組織改革への評価	新たな課題設定への評価	新たな課題設定への評価

② 民生委員・児童委員、主任児童委員

■●「協議の場」への参席などそれぞれが担当する小学校区単位の地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員、主任児童委員の充実・充足、ならびに、支援策・支援体制強化

実施主体	業績目標					
市（福祉総務課） 市社会福祉協議会	民生委員・児童委員、主任児童委員の「協議の場」への参画度合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	現状値確認	100%	100%	100%	100%
	成果目標					
	民生委員・児童委員、主任児童委員の認知度					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	33%	40%	45%	50%	55%	60%

③ 市社協

- 「共助をささえる共助」の機関として市社協の組織と運営を強化します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	市社協の組織と運営を強化できるように「プロジェクトチーム」での検討					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	「プロジェクトチーム」での検討	新たな取組みや必要に応じて組織改革の案を作成	新たな取組み実施、必要に応じて組織改革実施	新たな取組み実施、必要に応じて組織改革実施	新たな取組み実施、必要に応じて組織改革実施
	成果目標					
	理事会、評議員会による検討業績の評価					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	－	検討結果への評価	新たな取組み案への評価	新たな取組み実施状況への評価	新たな取組み実施状況への評価	新たな取組み実施状況への評価

(4) 体制の整備

① 「医療のまち」ブランド

■住民満足度・期待度の高い医療機関との連携を密にし、「医療機関が充実している」というシビックプライドや住民の安心感を高めます。

実施主体	業績目標					
市(健康づくり推進室)	市行政に医療施策担当の仕組みを構築					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	方針の 策定	方針の 実施	方針の 実施	方針の 実施	方針の 実施
	成果目標					
	「和泉市は医療が充実したまちである」と感じている住民の割合					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状値確認	前年度比 5%増	前年度比 5%増	前年度比 5%増	60%

② 小学校区単位の協働・みまもり体制

- 小学校区単位で、ボランティアと多機関の専門職が情報交換や協働したみまもり活動が行える体制づくりを推進します。

実施主体	業績目標					
市社会福祉協議会	市社協と多機関がみまもりについて話し合った回数					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	機関ごとのみまもりに関する課題を調査	情報交換やみまもり体制の検討	情報交換やみまもり体制の検討	情報交換やみまもり体制の検討	小学校区単位で顔の見えるみまもりの体制が整う
	成果目標					
	小学校単位で行う情報交換やみまもり活動への参加機関の広がり					
	現状値	R6	R7	R8	R9	R10 目標値
	—	現状確認	専門職間での協議	社協ボランティアや民生委員・児童委員	高齢者見守り協力事業所等	多機関での継続した話しあいが開催されている



和泉市イメージキャラクター

コダイくん・ロマンちゃん